

2025 年度

一般社団法人 大学スポーツコンソーシアム KANSAI
成果報告書

期間 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

K C A A

目次

I. 組織概要	3
II. 運営体制	4
III. 2025 年度に実施した事業	5
IV. 実施した事業の紹介	6
1. プラットフォーム形成 WG 担当	6
2. 人財育成 WG 担当	7
3. ガバナンス構築 WG 担当	9
4. 未来価値創造 WG 担当	10
5. 応援促進プログラム	10
6. KCAA 大学スポーツ奨励賞	11
7. SA (スポーツ・アドミニストレーション) 会議	12
8. KCAA カンファレンス 2026 「大学スポーツの社会連携～学生・大学・企業で創り共有する価値～」	12
9. KCAA セミナー 「学生が創る未来：大学スポーツの可能性と社会連携」ー2024 年度の活動からー	14
V. 関西のスポーツ振興に向けた経済界との連携	16
VI. 後援・協力事業	17

I. 組織概要

2016年度に大学スポーツ振興関西地区検討会が有志教員により発足され、大学横断的、競技横断的な取り組みを推進するために2018年4月10日に一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI（以下、KCAA）が設立された。KCAAは以下に示す5つの事業テーマに基づき運営を行っている。

1. 大学スポーツにかかわる多様なステークホルダー間の情報共有・連携・協力を促進するプラットフォームの形成
2. 社会を牽引し、未来を託せる「人財」の育成
3. 大学スポーツの振興と発展に資するスポーツガバナンスの構築
4. 大学スポーツの社会的・事業的価値の向上
5. 応援促進プログラムの運営

2026年3月31日時点で、正会員27大学、賛助会員16社、パートナー会員10団体となっている。前年比では正会員が新たに2大学加盟し、1大学が休会継続、2大学が退会となった。賛助会員は新たに2社加盟、1社休会、5社が退会、2社が休会継続となった。

加盟団体については、表1に示す。

表1. KCAA加盟団体一覧 ※2026年3月31日時点

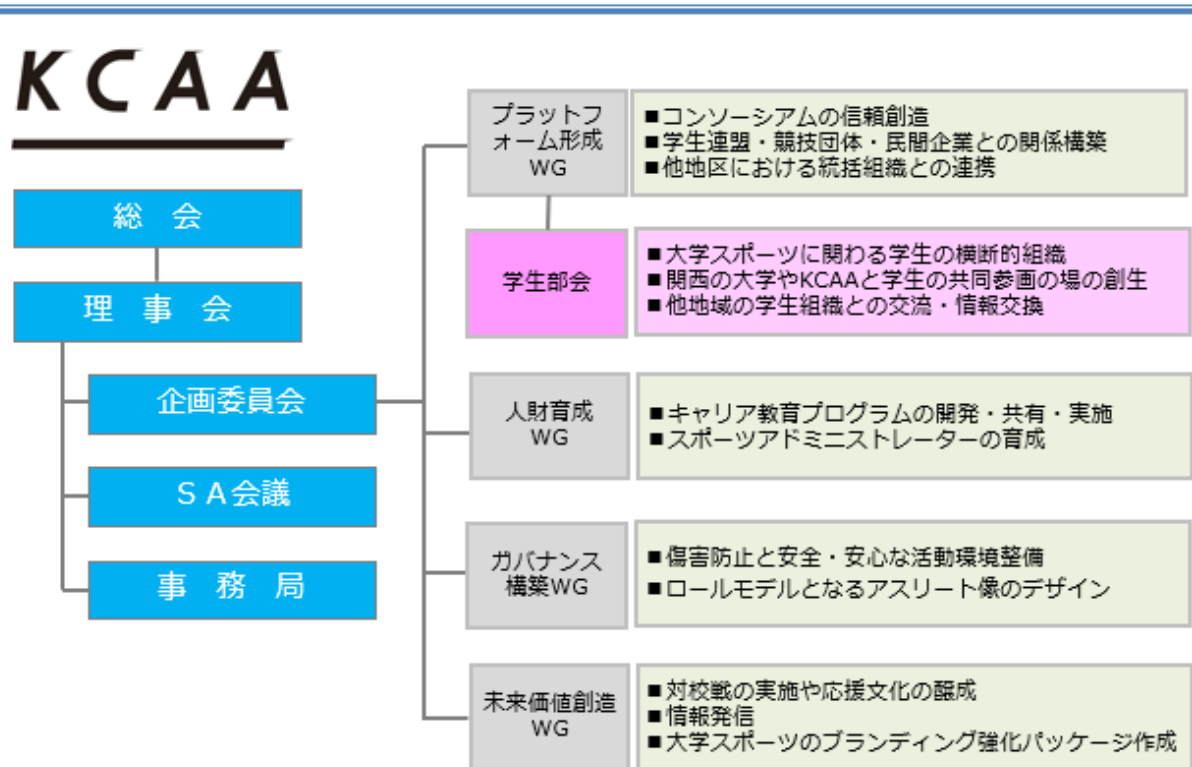
正会員（27）	藍野大学 追手門学院大学 大阪学院大学 大阪経済大学 大阪工業大学 大阪国際大学 大阪産業大学 大阪成蹊大学 大阪体育大学 大阪電気通信大学 関西大学 関西学院大学 京都産業大学 京都橘大学	近畿大学 甲南大学 神戸学院大学 神戸大学 摂南大学 園田学園女子大学 天理大学 同志社大学 阪南大学 びわこ成蹊スポーツ大学 びわこリハビリテーション専門職大学 立命館大学 龍谷大学
賛助会員（16）	アシックスジャパン株式会社 株式会社学生情報センター 京屋卸株式会社 クリヤマジャパン株式会社 株式会社KEI アドバンス 株式会社神戸製鋼所 株式会社サカイ引越センター 株式会社JTB 京都支店	株式会社スポーツフィールド 住友電気工業株式会社 株式会社電通 関西支社 日本製鉄株式会社 日本生命保険相互会社 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社山福 株式会社Rieden
パートナー会員（10）	大阪観光局 大阪商工会議所 大阪弁護士会	関西広域連合 京都大学体育会 全日本フルコンタクト空手コミッション

関西学生放送連盟 公益社団法人関西経済連合会	東大阪市 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会
---------------------------	--

正会員大学に関しては、SA 会議および企画委員会のもとに設置されたワーキンググループに参加を促し、議論へ加わっていただいている。

II. 運営体制

運営体制



KCAA 組織図

KCAA の 2025 年度理事・監事の体制 (2024 年 5 月定時社員総会以降～)

会長 (代表理事)	伊坂忠夫 (立命館大学 副学長・教授)
副会長	藤本淳也 (大阪体育大学 学長補佐・教授)
理事	上田憲嗣 (立命館大学 学生部長・教授) *KCAA 事務局長
理事	東 潤一 (メドテックアクチュエーター合同会社 ゼネラルマネージャー)
理事	上田滋夢 (追手門学院大学 教授) *未来価値創造 WG 座長
理事	江川美保 (京都大学 助教)
理事	菅 文彦 (大阪成蹊大学 教授) *ガバナンス構築 WG 座長
理事	早乙女誉 (阪南大学 教授)
理事	庄子博人 (同志社大学 准教授)
理事	高田義弘 (神戸大学大学院 准教授)
理事	橘 知孝 (関西経済連合会 地域連携部副参与)

理事	田中ひかる（近畿大学 教授）
理事	富田英司（弁護士）
理事	萩原悟一（九州産業大学 教授）
理事	藤林真美（摂南大学 教授） *プラットフォーム形成 WG 座長
理事	松永敬子（龍谷大学 教授） *人財育成 WG 座長
監事	岡本大典（弁護士）
監事	川方裕則（立命館大学 教授）
監事	神崎素樹（京都大学 教授）

III. 2025 年度に実施した事業

1. KCAA

日付	事業内容
通年	SA（スポーツ・アドミニストレーション）会議 (7/15, 10/14, 11/25, 1/25 の 4 回開催)
2025.05.24	KCAA セミナー 「学生が創る未来：大学スポーツの可能性と社会連携-2024 年度の活動から-」 担当：人財育成 WG、未来価値創造 WG
2025.07.28 ～ 2026.01.13	T リーグ×KCAA スポーツビジネス学生参画プロジェクト ミーティング 担当：人財育成 WG
2025.09.27	コネクトセミナー 「コンディションの波を乗り越え-アスリートの“心と身体”の整え方-」 担当：プラットフォーム形成 WG
2025.09.27	応援促進プログラム「チアコン」最終審査会 担当：プラットフォーム形成 WG
2025.12.15	「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西大会 決起大会&記念シンポジウム」 主催：関西経済連合会・関西広域連合 共催：KCAA
2025.12.27 12.28	T リーグ×KCAA スポーツビジネス学生参画プロジェクト 企画開催 担当：人財育成 WG
2026.01.08	「賛助会員・パートナー会員懇談会」 主催：KCAA 運営：株式会社スポーツフィールド
2026.02.20	ガバナンス・ワークショップ 担当：ガバナンス構築 WG
2026.02.20	KCAA カンファレンス 2026 ①KCAA 大学スポーツ奨励賞表彰式 ②学生カンファレンス「学生が拓く大学スポーツの社会連携」 ③企業カンファレンス「企業が認める大学スポーツの価値とは」 主催：KCAA 後援：関西経済連合会、大学スポーツ協会（UNIVAS） 協力：関西学生放送連盟

IV. 実施した事業の紹介

1. プラットフォーム形成 WG 担当

1-1 KCAA コネクトセミナー「コンディションの波を乗り越なす-アスリートの“心と身体”の整え方-

<実施日> 2025年9月27日(土) 14:30~16:10

<場 所> 立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟3階 コロキウム (B374 教室)

<概 要>

「コンディションの波を乗り越なす-アスリートの“心と身体”の整え方-」をテーマにコネクトセミナーを開催した。講師には睡眠とスポーツ科学の第一線で活躍する早稲田大学の西多先生を招き、最新論文をもとに、競技力向上に直結する実践的な知見をご紹介いただいた。後半は学生登壇者4名が加わり、睡眠やコンディショニングをめぐる率直な質問と討論を展開した。

西多先生は学生の声を引き出しながら可能性を広げる視点をご提示くださり、参加者がより高いレベルのコンディションづくりへ一歩踏み出す学びの場となった。

<登壇者>

座 長 : 藤林 真美 (KCAA 理事/摂南大学 教授)

講演者 : 西多 昌規 (早稲田大学 教授/精神科医)

シンポジスト:

小沢 有希乃 (京都橘大学)

中澤 亮希 (摂南大学)

三谷 鈴菜 (びわこ成蹊スポーツ大学 大学院)

深田 稜太 (びわこ成蹊スポーツ大学 大学院)

KCAA | コネクトセミナー

コンディションの波を乗り越なす

アスリートの“心と身体”の整え方

開催日 **2025年9月27日**
14:30~16:00 (受付14:00~)

会場: 立命館大学 大阪いばらきキャンパス B棟3階 コロキウム (B374)
申込: <https://forms.gle/zbcHfjh8YBtXt6GA>

▶ 参加申込はこちら!

[プログラム]

第一部: 西多 昌規 先生 (早稲田大学 教授/精神科医) 講演
コンディションの波を乗り越なす -アスリートの“心と身体”の整え方-

第二部: 学生を交えたパネルディスカッション
「あなたも登壇しませんか? / 学生パネリスト募集中!」
(交通費支給・贈礼あり)

モデレーター: 藤林 真美 (KCAA理事/摂南大学 教授)

応援促進プログラム「テアコン」最終審査プレゼンテーション同時開催!
日時: 2024年9月27日(土) 16:15~17:30
場所: 立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟3階 コロキウム (B374)

※当日参加も可能ですが、事前申込にご協力をお願いします。定員になり次第、申込を締切らせていただきます。
※観覧券・観覧券はございません。公共交通機関をご利用ください。
※キャンパス内は禁煙です。周辺での喫煙もご注意ください。

主催: 一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI (KCAA) ☎ 077-561-5734 kcaajimu@kcaa-jp.org



1-2 応援（Cheer）プランコンテスト（チアコン）最終選考会

<実施日> 2025年9月27日（土） 16:15～17:30


<場所> 立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟3階コロキウム（B374教室）

<概要>

応援促進プログラムは、大学スポーツをもっと身近にもっと楽しく感じてもらえるよう、交流試合や地域を巻き込んだイベントにKCAAが支援するプログラムである。最終選考会では（1）大学スポーツのファンの拡大、集客が期待される仕掛けづくり（2）計画の具体性および実現可能性の観点から審査し、優秀な取り組みを表彰した。

応援促進プログラム「チアコン」最終審査 16:15～17:30

応援促進プログラムは大学スポーツを応援する活動にKCAAが協賛を行うプログラムです。本年度は応援(Cheer)プランコンテスト(チアコン)を実施します。大学スポーツをもっと身近に、もっと楽しく感じてもらえる企画を募集しました。



エントリーNo.1
立命館大学AVA
エントリーNo.2
びわこ成蹊スポーツ大学
エントリーNo.3
大阪体育大学



2. 人財育成 WG 担当

2-1 Next5 KCAA×T リーグスポーツビジネス学生参画プロジェクト

<プロジェクト概要>

T リーグと大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA) による「2025 年度スポーツビジネス学生参画プロジェクト（主催：日本生命様）」は、KCAA 加盟大学の学生がプロスポーツの現場に主体的に参画し、スポーツビジネスを実践的に学ぶことを目的とした KCAA の人財育成事業である。今年度も、日本生命レッドエルフを主管とする T リーグ公式戦を題材に、理論学修と実践活動を組み合わせたプログラムとして実施した。

2025 年 7 月 28 日からスタートした本プロジェクトでは、12 月 27 日（土）・28 日（日）に開催された T リーグ・日本生命レッドエルフのホームゲームでの満席実現を一つの目標に設定。学生たちは、スポーツマーケティングやイベント運営に関する講義を受講するとともに、グループワークを通じて集客施策や来場者向け企画の立案に取り組んだ。

活動の中盤以降は企画内容を具体化し、試合当日に向けた準備を本格化。試合当日には、学生自身が企画したイベントの運営や来場者対応に携わり、スポーツの興行現場を支える実践的な経験を積んだ。企画が形となり、観戦者の体験価値向上につながる過程を現場で体感する貴重な機会となった。

7 月からのプロジェクトは対面開催 6 回、Web 開催 2 回、9 月には T リーグ日本生命レッドエルフ公式戦の運営スタッフの体験もした。さらに 11 月には WE リーグのセレッソ大阪ヤンマーレディースの公式戦において、T リーグ公式戦の告知イベントを実施した。貝塚市で開催された 12 月 27 日（土）・28 日（日）の T リーグ日本生命レッドエルフのプロジェクト公式戦の集客数においては、目標には達しなかったものの、学生ならではの視点を活かした選手へのメッセージ企画など、選手および関係者の皆様からも一定の評価を得ることができ、課題も含めて学生の成長の場となった。終了後の 1 月 13 日（火）には修了式を開催し、半年間の活動を振り返った。学生一人ひとりが本プロジェクトを通じて得た学びや気づきを共有し、今後の学生生活や社会での活動にどのようにつなげていくかを確認した。今年度は、KCAA 加盟校 3 大学から計 9 名の学生がプロジェクトに参画し、

全員に修了証が授与された。本プロジェクトに参加された皆さんの、今後のさらなる成長と活躍を心より期待している。そして、ご協力いただいた日本生命レッドエルフの関係者の皆様には心より感謝している。

KCAA では今後も、大学・企業・地域が連携し、学生が主体的に挑戦できる実践的な学びの場を創出していく。

■修了者氏名（五十音順）

- 青柳 雄大さん（立命館大学 スポーツ健康科学部 1回生）
- 浅田 遥さん（立命館大学 スポーツ健康科学部 4回生）
- 柏木 瑠香さん（立命館大学 文学部 1回生）
- 清水 雄大さん（立命館大学 産業社会学部 2回生）
- 高田 舞さん（立命館大学 文学部 1回生）
- 寺岡 郁苗さん（大阪体育大学 スポーツ科学部 2回生）
- 弘田 康嘉さん（追手門学院大学 社会学部 1回生）
- 松岡 秀明さん（立命館大学 経営学部 1回生）
- 森脇 志さん（大阪体育大学 スポーツ科学部 2回生）

◇公式試合当日イベント @大阪貝塚・貝塚コスモシアター



@日本生命レッドエルフ



◇修了式 @日本生命本店本館（淀屋橋）1Fセミナールーム



3. ガバナンス構築 WG 担当

3-1 「ガバナンス・ワークショップ」

<実施日> 2026年2月20日(金) 9:30~11:30

<場 所> 立命館大学大阪いばらきキャンパス C棟2階 C272 ラーニングスタジオ

<参 加> 計25名

KCAA理事・監事・アドバイザー/KCAAガバナンスワーキンググループメンバー
大学スポーツ運営当局組織 関係者/大学スポーツクラブ・部 指導者・関係者
大学生(大学スポーツクラブ部員学生・体育会組織メンバー学生等)

<概 要>

「学生の主体性を発揮した大学スポーツ・体育会運営のあり方」をテーマに、KCAA主催によるガバナンス・ワークショップを実施した。

前半の部では、関西大学および大阪学院大学の学生代表より、各大学における学生主体の組織運営や独自の取り組みに関する事例発表と質疑応答が行われた。

後半のワークショップ・ディスカッションでは、参加8大学(大阪成蹊大学、大阪学院大学、近畿大学、甲南大学、神戸大学、阪南大学、京都橘大学、摂南大学)から、組織の現状と今後の展望が共有された。参加した学生や大学関係者から「(一部の大学で)本部組織の形骸化・機能不全」「学生が自身のクラブ活動と運営組織の兼任による負担とモチベーションの低下」「学生からの発信や当事者意識の不足」といった課題が浮き彫りとなった。

これらの課題に対し、各大学から具体的な改善策や展望が示された。例えば、「オンラインの活用による負担軽減(近畿大学)」や「ディスカッション形式の導入による主体性喚起(甲南大学)」といった運用面の改善のほか、「体育会・文化会の垣根を越えた横の繋がり強化(京都橘大学、摂南大学)」、「OB・OG連合会との連携強化(神戸大学)」、「『スポーツマネジメント』に特化した新組織への再定義・改編(阪南大学)」など、組織のあり方そのものを見直す多様なアプローチが提示された。

学生間の意見交換では、他大学の異なる組織形態や取り組みを直接知ることで新たな気づきを得るなど、競技のライバルとしてではなくマネジメント視点での交流が学生にとって大きな刺激となったことが伺えた。

最後に講評が行われた。大学が管理すべき権限と学生主体で取り組む領域を切り分けることの重要性に加え、学生の活動を持続させるための動機付け(キャリアアップや帰属意識)の必要性が説かれた。また、主体性を学生に押し付けるのではなく持続可能な未来像を関係者全員で共有・発信していくことが大学側の重要な役割であると強調され、本ワークショップは閉会した。



4. 未来価値創造 WG 担当

4-1 FUTURE QUEST

2023年2月25日に開催された「KCAAカンファレンス2023」において完成発表を行ったキャリアアシミュレーションカードゲーム「FUTURE QUEST（以下、FQ）」は、2023年度から2025年度にかけて、6大学において延べ300名を超える学生および教職員を対象としたデモンストレーションを実施した。

2025年度においては、導入に向けた普及促進活動を実施したものの、各大学への定期的な導入には至らなかった。その要因として、FQ導入に係る費用設定およびファシリテーター養成体制の未整備が挙げられる。

当該状況を踏まえ、FQの普及に向けては、従来の大学単体での導入促進に加え、企業への展開を含めた新たな普及モデルの構築が必要であるとの認識に至った。2025年度はその前提となる「仕組みづくり」の方向性を整理する段階にとどまっている。

今後は、教職員主体の運営体制による推進には一定の制約があることから、外部委託等を含めた実施体制の再構築を行い、普及促進を図る方針である。

FUTURE QUESTについて詳細はこちら → <https://www.kcaa-jp.org/post/2023fqcard>

4-2 連携事業

賛助会員の獲得に向け、2024年度末に株式会社スポーツフィールド（KCAA賛助会員、以下、SF社）との提携を締結した。2025年度においては、SF社の支援により10社を超える新規賛助会員の申込があり、2026年度における継続申込も安定的に推移している。

また、2026年1月8日には、既存および新規賛助会員と当法人理事による懇親会を開催し、相互交流の機会を創出した。さらに、2026年2月20日に開催した「KCAAカンファレンス2026」では創設以来最多の参加者数を記録し、併催した懇親会においても表彰学生および賛助会員の参加を得て、交流の深化を図った。

今後においては、賛助会員および理事大学との連携を一層強化し、継続的な関係構築とネットワーク拡充に資する機会の創出を進める。

加えて、一般社団法人大学スポーツ協会の本年度事業の一部を当法人が受託した。本件は、これまでの連携実績および先進的取組が評価された結果であり、当法人の事業基盤の強化に資するものである。

今後は、文部科学省およびスポーツ庁等の関連分野に加え、周辺領域における補助金・助成金の活用も視野に入れ、持続的な事業展開に向けた資源確保を図る。

5. 応援促進プログラム

<概要>

応援促進プログラムは大学スポーツをもっと身近に、もっと楽しく感じてもらえるよう、KCAAが交流試合や地域を巻き込んだイベントに支援する（盛り上げる）プログラムである。

スポーツを「する」ことにこだわらない、学生による、学生を勇気づける取り組み、大学スポーツの魅力発信を目的とした取り組みなどにも範囲を広げ、応援（Cheer）プランコンテスト（チアコン）を実施し、最優秀プランに対して助成を行うこととした。

→ 1. プラットフォーム形成WG担当 1-2 応援（Cheer）プランコンテスト（チアコン）最終選考会 を参照。

6. KCAA 大学スポーツ奨励賞

<概要>

本制度は各大学の大学スポーツに関わる活動のモデルと成りうる実績を有する個人活動を顕彰し、今後の活躍を奨励することを目的として設けたものである。推薦対象者はスポーツに関わる活動を行っていれば学生アスリート、主務、マネージャー、学生トレーナー、学生指導者等問わない。各大学より1名を推薦できる。本年度は18名に授与した。表彰式は2月20(金)に開催した「KCAA カンファレンス 2026」の中で行い、受賞者には表彰盾を贈呈した。



2025 年度 KCAA 大学スポーツ奨励賞受賞者一覧

(表彰内容については巻末資料をご覧ください)

	氏名(五十音順)	所属大学	学部	学年	団体名称(競技種目)	役割
1	浅利 奏音	追手門学院大学	心理学部	3	洋弓	副女子リーダー/ トレーナー
2	壹岐 元太	京都産業大学	経済学部	4	陸上競技 (短距離)	主将
3	岡田 修樹	京都橘大学	経営学部	4	サッカー	主将
4	荻原 晃希	関西学院大学	人間福祉学部	4	アイスホッケー	学生スタッフ
5	奥村 啓	近畿大学	法学部	4	体育会本部	本部長
6	唐澤 一志	大阪体育大学	体育学部	4	体操競技	主将
7	久保田 高德	立命館大学	文学部	4	バドミントン部	主務/渉内
8	柴田 莉湖	神戸学院大学	経営学部	4	バレーボール部	選手
9	清水 由埜	藍野大学	医療保健学部	1	フルコンタクト空手	選手
10	Joshua Hood	神戸大学	経済学部	2	バスケットボール (5人制)	選手
11	多湖 伝我	関西大学	経済学部	4	弓道部	選手
12	寺本 葵	天理大学	体育学部	4	陸上競技・ 女子 400m	選手
13	中野 颯士	大阪工業大学	知的財産学部	3	剣道部	主将
14	久本 愛美	関西学院大学	経済学部	4	バレーボール	主将

15	藤田 剛史	摂南大学	法学部	4	陸上競技（長距離）	選手
16	松田 向日葵	追手門学院大学	国際学部	3	ラグビー	選手
17	森近 颯	龍谷大学	経営学部	2	柔道	選手
18	横田 翔	大阪成蹊大学	経営学部	4	フットサル部	キャプテン/ 選手

7. SA（スポーツ・アドミニストレーション）会議

KCAA では、学生のウェルビーイングなライフスタイルの実現をめざす学生支援部署の担当者を対象とした、スポーツ・アドミニストレーション会議（SA 会議）を定期的開催している。会議では、大学におけるスポーツ推進におけるさまざまな課題に対する議論や好事例の紹介を通じて、加盟大学間で情報共有が行われている。

2025 年度は、Zoom を活用したオンライン会議形式で隔月（年 4 回）開催し（毎回 15 名前後の参加、最高 17 名）、以下のような情報共有／ブレインストーミングと学習会を実施した。

[情報共有／ブレインストーミングの内容]

- ・自己紹介、近況報告、SA 会議の目的および今年度の WG 活動（7 月）
- ・各大学で支援している強化クラブの部則等を大学 HP に掲載しているか（7 月）
- ・2025 年 6 月 1 日からの熱中症対策義務化に伴い、各大学では熱中症対策として屋外施設においてどのように対策を取られているか。特に、WBGD 測定器を屋外用のものを購入し設置しているか、屋内用を貸し出しなどして対応しているか（7 月）
- ・T リーグ×KCAA スポーツビジネス学生参画プロジェクトのご案内（7 月）
- ・大学体育会クラブの会計処理・監査の実態（10 月）
- ・課外活動強化に関するアンケートの実施（10 月）
- ・クラブ活動における外部資金獲得に関する各大学の支援方針（11 月）
- ・カンファレンス 2026 のご案内（11 月）
- ・KCAA 大学スポーツ奨励賞について（11 月）
- ・後援名義申請について（11 月）
- ・UNIVAS SSC 制度について（1 月）
- ・指導者の保険加入についての実態や取組について（1 月）
- ・カンファレンス 2026 のご案内（1 月）

8. KCAA カンファレンス 2026

「大学スポーツの社会連携～学生・大学・企業で創り共有する価値～」

<実施日> 2026 年 2 月 20 日（金）13:00～16:30

<場 所> 立命館大学大阪いばらきフューチャープラザ・コロキウム
（立命館大学大阪いばらきキャンパス）

<後 援> 公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）

<協 力> 関西学生放送連盟

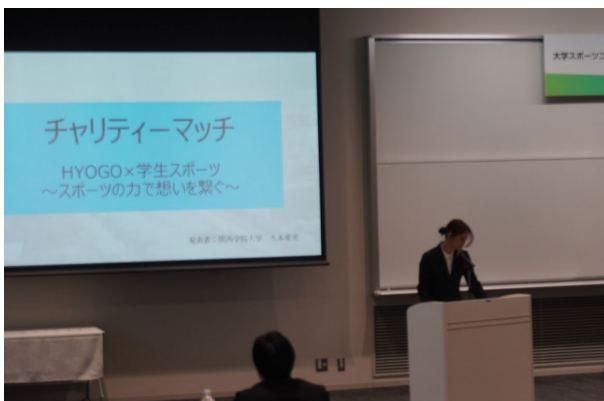
<概 要>

KCAA 設立 5 周年の節目に策定された「Next5 構想」に基づき、「ウェルビーイング」と「地域」をキーワードとした大学スポーツの新たな価値創造を目指し、本カンファレンスが開催された。今年度は「大学スポーツの社会連携とサステナビリティ」をテーマに掲げ、学生・大学・企業が共に社会的価値を創出し共有する姿を議論した。学生、教職員、企業関係者らが集い、大学スポーツが単なる競技の枠を超え、社会課題解決の実装の場となり得るかを問う機会となった。

第一部の学生カンファレンスでは、学生主体による社会連携の具体事例が報告された。関西学院大学バレーボール部による震災の記憶を繋ぐチャリティーマッチ、立命館大学バドミントン部による部活動の地域移行実証事業、岡山理科大学サッカー部による地域貢献を軸とした「未来型サッカークラブ」への挑戦など、スポーツ資源を社会課題解決に結びつけた志の高い活動が共有された。これらの報告を通じ、学生たちが「対話」と「信念」で部内の温度差や孤独を乗り越え、何物にも代えがたい「人間力」を育てているプロセスが示された。

第二部の協賛企業カンファレンスでは、株式会社サカイ引越センター、株式会社ザナックス、株式会社スポーツフィールドの 3 社が登壇した。企業側からは、大学スポーツで培われる「やり抜く力」や「組織連携の経験」が、人的資本として企業経営やブランド価値向上に直結していることが強調された。特に、単なる「支援（スポンサー）」の関係を超え、共通の課題解決に向き合う「共創（パートナー）」へのフェーズへと移行していることが確認された。

最終盤のクロストークでは学生と企業が直接対話し、学生側から「対等な立場で地域を良くするパートナーでありたい」という提言がなされるなど、大学スポーツの英知を社会に還元し、共に未来を創るプラットフォームとしての KCAA の役割が改めて浮き彫りとなった。参加者は、大学スポーツが社会課題解決の実装の場となり得る可能性を共有し、盛会のうちに幕を閉じた。



<プログラム>

- 総合司会：藤澤 咲璃花（関西学生放送連盟所属・神戸大学）
- 13:00- 開会挨拶：伊坂 忠夫（KCAA 会長・立命館大学 副学長）
- 13:05- KCAA 大学スポーツ奨励賞表彰式
- 14:00- カンファレンス趣旨説明：藤本 淳也（KCAA 副会長）
- 14:10- 学生カンファレンス「学生が拓く大学スポーツの社会連携」
事例報告：
関西学院大学バレー部
立命館大学バドミントン部
岡山理科大学サッカー部
パネルディスカッション（モデレーター：藤林 真美・KCAA 理事）
- 15:10- 協賛企業カンファレンス「企業が認める大学スポーツの価値とは」
ケース紹介：
株式会社サカイ引越センター
株式会社ザナックス
株式会社スポーツフィールド
パネルディスカッション（モデレーター：藤本 淳也・KCAA 副会長）
- 16:10- クロストークセッション（学生×企業×大学）
- 16:25- 閉会挨拶：伊坂 忠夫（KCAA 会長・立命館大学 副学長）



9. KCAA セミナー

「学生が創る未来：大学スポーツの可能性と社会連携」—2024 年度の活動から—

- <実施日> 2025 年 5 月 24 日（土）11:00～11:45
- <場 所> 立命館大学大阪いばらきフューチャープラザ・コロキウム
（立命館大学大阪いばらきキャンパス）
- <対 象> 大学関係者、KCAA 賛助会員・パートナー会員、その他
- <参加人数> 約 30 名

<概要>

KCAA が取り組む学生の成長支援と大学スポーツの社会的価値創出について、2024 年度に主催・関与した 3 つの先進的な学生参画プロジェクトの事例を共有することを目的として開催した。加盟大学の好事例を横展開し、大学間の連携による新たな共同プロジェクトの創出や、大学スポーツの教育的・社会的価値の可視化、大学全体のブランド力向上を目指したネットワーク形成の場として設定した。

本セミナーでは、学生が主体となって取り組んだ 3 つのプロジェクトについて、担当教員や関係者から詳細な報告が行われた。

事例報告①では、「野球バットのリサイクルプロジェクト ～SDGs で地域社会をつなぐ学生主導の取り組み～」と題し、大阪体育大学の事例が紹介された。硬式野球部で年間約 360 本廃棄されていた木製バットを資源として再利用する本プロジェクトは、スポーツマネジメントコースの学生が主体となり、福井県小浜市の株式会社兵左衛門と連携。廃棄バットをオリジナル箸「かっとばし!!」へとリサイクルし、大学の周年記念品や広報ツールとして活用するモデルを構築した。単なる廃棄コストの削減に留まらず、学生が企業との交渉や製品企画を実体験し、大学スポーツを起点とした SDGs への貢献とブランド価値創造を実現した事例として報告された。

事例報告②では、「T リーグ×学生参画プロジェクト ～プロスポーツイベントの企画運営の実践による人材育成～」について、松永敬子理事（龍谷大学）より報告がなされた。女子卓球プロチーム「日本生命レッドエルフ」と連携し、5 大学 14 名の学生が参画した。2025 年 3 月に立命館大学で開催された公式試合に向けて、全 15 回のミーティングを重ね、集客戦略や地域貢献活動の企画・運営に携わった。学生たちは、プロスポーツの現場におけるマーケティングや広報の実践を通じて、大学や学部を超えたコミュニケーション能力や主体的行動力を養い、地域社会とスポーツの関わりを深く学ぶ機会となった。

事例報告③では、「Future Quest カードゲーム ～キャリア形成を支援する入学前教育の試み～」について、上田滋夢理事（追手門学院大学）より報告があった。新入生が抱く大学生活への不安を解消し、早期のキャリア意識を醸成するために開発されたシミュレーション型ゲームである。従来の座学形式ではなく、ゲームを通じて「失敗の経験」や「学年に応じた変化」を疑似体験させることで、学生同士や教職員、企業人との活発なコミュニケーションを誘発した。実施後のアンケートでは 8 割以上の学生が「楽しく学べた」と回答しており、内発的な学びを引き出す新たな教育手法としての可能性が示された。

最後に、これらの事例を足がかりに、加盟大学が有機的に連携する未来志向のネットワークを一層推進していくことが確認され、盛会のうちに終了した。

<プログラム>

- 11:00- 開会挨拶
- 11:02- 事例報告①「野球バットのリサイクルプロジェクト」
～SDGs で地域社会をつなぐ学生主導の取り組み～
- 11:15- 事例報告②「T リーグ×学生参画プロジェクト」
～プロスポーツイベントの企画運営の実践による人材育成～
- 11:28- 事例報告③「Future Quest カードゲーム」
～キャリア形成を支援する入学前教育の試み～
- 11:41- 閉会挨拶

V. 関西のスポーツ振興に向けた経済界との連携

KCAA と関経連は、2019年9月に第1回「関経連スポーツ振興委員会とKCAAとの懇談会」を開催し、関西のスポーツ振興に向けた連携を図っていくことを合意している。

2025年12月15日にはワールドマスターズ2027関西決起大会&記念シンポジウムを関経連・関西広域連合主催、KCAA共催にて開催した。

ワールドマスターズゲームズ2027関西決起大会&記念シンポジウム

<実施日> 2025年12月15日(月)14:30~17:15

<場 所> ナレッジキャピタルナレッジシアター

(大阪市北区大深町31 グランフロント大阪北館4階)

<概 要> 関西のスポーツ振興の取り組みに対する理解を促進し、次のアクションにつなげていくための意見交換の場として実施。今回はワールドマスターズゲームズ2027関西のエントリー開始直前の盛り上げという観点から、決起大会を併催。

<テーマ> 「生涯スポーツがつくる未来社会~WMG2027 関西がもたらす新たな」

<主 催> (公社) 関西経済連合会、関西広域連合

<共 催> (公財) ワールドマスターズゲームズ2027関西組織委員会
(一社) 大学スポーツコンソーシアムKANSAI (KCAA)、大阪大学、
関西スポーツ振興推進協議会

<後 援> スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツ センター(HPSC)、経済産業省、
(一社) アスリートネットワーク

<協 力> 京都府立丹波自然運動公園協力会京都トレーニングセンター

<参加者> 約300名 (オンライン含む)

<プログラム>

14:30- 決起大会 会長挨拶

関西広域連合 広域連合長 三日月 大造氏

関西経済連合会 会長 松本 正義氏

応援大使からのエール

15:00- 基調講演「生涯スポーツがつくる豊かな社会」

東京2025世界陸上財団 会長、日本陸上競技連盟 顧問(前会長)

国立大学法人筑波大学 名誉教授 尾縣 貢氏

15:35- 事業報告「関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアムの取り組みについて」

関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアムアドミニストレーター

京都トレーニングセンター センター長 馬淵 博行氏

15:55- パネルディスカッション

「生涯スポーツがつくる未来社会~WMG2027 関西がもたらす新たな可能性~」

<パネリスト>

日本たばこ産業株式会社 理事・大阪支社長 嶋田 有里菜氏

テニスプレーヤー 伊達 公子氏

パラリンピアン (東京パラリンピック銅メダリスト、NTT西日本 陸上競技部所属) 堀越 信司氏

<ファシリテーター>

大学スポーツコンソーシアム KANSAI 副会長 藤本 淳也氏



ワールドマスターズゲームズ 2027 関西 決起大会&記念シンポジウム
(2025年12月15日/ナレッジキャピタル ナレッジシアター)

VI. 後援・協力事業

2025年度にKCAAが後援・協力を行った事業は以下の通りである。

1. 株式会社スポーツフィールド主催「指導者向けコンプライアンス勉強会」2025.4.18
2. 株式会社スポーツフィールド企画「明治安田生命保険 presents チャリティーマッチ HYOGO×学生スポーツ～スポーツの力で想いを繋ぐ～」2025.5.6
3. 立命館大学 BKC 新歓 BOWL 実行委員会主催「BKC 新歓 BOWL PANTHERS (立命館大学) VS BIG BEARS (早稲田大学)」2025.5.18
4. 株式会社 Rieden、株式会社スポーツフィールド主催「専門家により驚異のパフォーマンス向上術！」2025.6.29
5. 龍谷大学主催 Coaching Seminar 2025「プライオメトリクスのエビデンスと実践～サッカー選手の研究から～」2025.8.9
6. 株式会社スポーツフィールド主催「薬物乱用防止セミナー」2025.9.4
7. 大阪体育大学主催「フレンドリーマッチ 2025」2025.12.5
8. 立命館大学主催「ReLIVE BUDO RE:FRAME - Tradition in a New Light — 武道を“再構築”し、現代の光で照らす。」2025.12.11
10. 株式会社スポーツフィールド企画「薬物乱用防止セミナー」2025.12.23
11. 株式会社スポーツフィールド主催「特別指導者勉強会 令和の10代20代をどのように導くか～若人の心に火をつけるには～」2026.1.9
12. 学校法人立命館主催「立命館スポーツコーチサミット」2026.1.24
13. 一般社団法人全日本フルコンタクト空手コミッション主催「第2回西日本フルコンタクト空手道選手権大会(西日本インカレ)」2026.1.25
14. 日本スポーツマネジメント学会主催「日本スポーツマネジメント学会第18回大会」2026.2.26～2026.2.28
15. 株式会社スポーツフィールド企画「大同生命 presents ~Spring camp2026~」2026.3.5
16. 大阪体育大学主催 大阪体育大学開学60周年記念シンポジウム「DX・AXと共に創る、スポーツ分野の教育・研究・社会貢献の未来」2026.3.6

17. 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所主催 身体圏研究シンポジウム「リアル×バーチャル環境が創る新しい日常と未来 主体・環境・情動の相互作用をめぐる学際的アプローチ」
2026.3.6
18. 一般社団法人全日本フルコンタクト空手コミッション主催「TOP of JKC in 比叡山（比叡山選手強化合宿）」2026.3.14～2026.3.15

大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA)
事務局

525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1
立命館大学スポーツ強化オフィス内

TEL : 077-561-5734

MAIL : kcaajimu@kcaa-jp.org